

申し込みから体験スタートまでの流れ

1. ガイドブックを見る



- 令和6年度夏のボランティア体験月間の冊子（この冊子）のなかから、自分が体験してみたい活動を調べましょう。
- ボランティア体験をしたい施設等については、お近くの市町の社会福祉協議会（社協：しゃきょうと言います）が連絡調整しますので、社協に直接訪問するか、電話で訪問日時を予約します。（できるだけ平日にご連絡ください）
- 冊子のデータは大分県ボランティア・市民活動センターのホームページにも掲載しています。

2. 「社協」で申込み

〔未成年の方は保護者の同意が必要です。〕



- 社協を訪問する際（支所もあるので注意）に、この冊子の巻末にある参加申込書を記入して持参しましょう。ここで、ボランティアコーディネーター（担当者）が体験希望先に連絡し、体験日時を調整します。
- 今年度ボランティア活動保険に加入している人は、FAXまたは郵送でも申し込みができます。その際は、加入していることを証明する書類（加入証など）の写しを添付してください。
- ボランティア活動保険の詳細については、社協の担当者にご連絡ください。

3. オリエンテーションや事前説明を受ける



- 担当市町村社協から体験施設決定の連絡がきたら、体験施設が記載された参加申込書のコピーを受け取り、ボランティア体験の心構えについて参加者説明会を受けます。
- 参加申込書に連絡先を記入する場合は、携帯電話の番号やメールアドレス、家にいる時間帯等記入していた方が、連絡がスムーズになります。

4. 体験施設と連絡をとる



- 体験施設には、体験日時や持って行くもの等を前日までに、電話で再確認してください。
- また、体験日前にオリエンテーションがあるところもありますので、日時を調整のうえ訪問します。

5. 体験活動



- 持ち物等を確認し、いざ活動へ！

- ※ 当日、何らかの理由で参加できない場合は、体験施設と担当社協へ必ずご連絡ください。
- ※ 荒天時等は、体験施設が受入れ可能か必ず確認してください。